

文教厚生委員会 行政視察報告書

平成29年11月17日

狭山市議会議長

齋藤 誠 様

文教厚生委員会

委員長 金子 広和

当委員会は、下記のとおり、石川県かほく市及び富山県富山市を視察して参りましたので、その概要について報告いたします。

記

日 程 平成29年10月24日（火）・25日（水）

- 視察事項
1. 石川県かほく市：学校施設の複合化とスポーツ振興について
  2. 富山県富山市：富山市まちなか総合ケアセンターについて

参加者 金子 広和 矢 馳 一 郎 内 藤 光 雄  
          笹 本 英 輔 大 沢 えみ子 新 良 守 克  
          齋 藤 誠

同行者 宮 岡 浩 長寿健康部次長

随 行 田 中 智 子

## 【石川県 かほく市】

[市制施行] 平成16年3月1日(合併による)

[人口] 35,046人(平成29年3月末日現在)

[面積] 64.44平方キロメートル

[概要]

石川県のほぼ中央、県都金沢市の北約20kmに所在し、西は日本海を望む。日本海に面していることにより、古くから廻船や水産業が盛んだったほか、北陸交通の要衝としての宿場町として栄えてきた。現在は江戸時代から続く繊維産業のほか電子産業などが主要産業である。農産品のブランド化を推進しており、高級ブドウとして知られるルビーロマンは、水産品の加能かにとともに市の特産品である。若い世代の流入のための施策を積極的に推進しており、本年は大手出版社の住みよさランキングで全国4位に輝いている。

### 【調査項目】

1. 学校施設の複合化とスポーツ振興について
  - (1) 施設整備に至る経緯と予算規模について
  - (2) 施設の管理・運営体制について
  - (3) 学校教育や生徒、地域住民への影響と効果について
  - (4) 防犯対策について
  - (5) 指定管理を実施している総合型地域スポーツクラブについて

### 【視察内容】

1. 議会議長より歓迎のご挨拶をいただき、金子委員長及び齋藤議長より視察受け入れの謝意をお伝えした後、関係職員及び指定管理者担当より説明を受けた。概要は以下の通り(15時30分終了)
  - (1) 対象施設：市立宇ノ気体育館(体育施設条例で設置)



① 施設概要

延床面積 4,488 m<sup>2</sup>

1F：屋内練習場（人工芝 636.61 m<sup>2</sup>）



スタジオ（175.95 m<sup>2</sup>）



2F：アリーナ（バスケットボール  
2面分、1,353.01 m<sup>2</sup>）



3F：ランニングコース、観覧席

(2) 複合化施設として整備した理由及び経緯

合併前(平成16年合併)の旧宇ノ気町にて実施計画まで実施した。旧宇ノ気町には正式なバスケットボールコート2面を有する体育館や総合型地域スポーツクラブの活動拠点がなかったことから、両条件を満たすため、中学校改築計画にて体育施設との複合化を計画した。

(3) 整備工事費及び財源について

- ① 先述の中学校改築計画において、中学校舎と体育館の予算は別立てとなっており、工事も別発注となった。
- ② 体育館を学校体育館ではなく、体育施設とすることで合併特例債を充てることができた。(工事費:1,145,550,000円)合併特例債は事業費の95%を充当可能(うち70%を国が負担)なため、他の国庫支出金よりも補助率が高く財政的に有利であった。

※参考 学校施設(校舎)工事費:2,037,000,000円

(4) 施設の管理・運営体制について

- ① 学校施設については、学校側(所管:学校教育課)、体育施設は生涯学習課が所管している。
- ② 体育施設については指定管理者制度を導入し、活動拠点として使用している総合型地域スポーツクラブに委託している。

(5) 学校教育や地域住民の影響や効果について

- ① 生徒と地域住民の相互利用で、日常的にお互いの活動を目にすることで、交流の機会が生まれ、関係を深めることができる。
- ② 施設の高機能化や多機能化により生徒と地域住民に多様な学習環境を創出することができる。
- ③ 施設の複合化により、生徒の学習の場のみでなく、地域住民の生涯学習の場となるため、地域コミュニティの拠点として、伝統文化や行事の継承などを通じて、地域コミュニティの形成に寄与することができる。
- ④ 地域から様々な人材が集まるため、学校教育に専門性のある人材の活用が可能となり、高度な専門知識に触れる機会を創出することができる。また地域住民の学校運営への支援がスムーズに行われ、支援が推進される。



- ⑤ 施設を一元管理するため、管理費用や負担が軽減される。
- ⑥ 学校教育での利用を優先しているため、地域住民の日中の利用が限定的なものになってしまう。
- ⑦ 施設の予約や受付を指定管理者がおこなうことにより、地域住民が利用しやすくなっている。

## (6) 防犯対策について

- ① 学校、体育施設ともに、敷地や施設自体へのアプローチはオープン化されているので、どちらの入口も職員室から確認できるよう設計されている。(入館に関しては、学校玄関は原則施錠。体育施設は受付カウンターに職員を配置)
- ② ①については学校には若干不安もあったが、生徒と地域住民の触れ合いが生まれることにより、逆にその市民の目が不審者を監視することになると考えている。地域のつながりが濃密な地域特性が活かされている。

## (7) 指定管理者（総合型地域スポーツクラブ）の対応

- ① 物品管理は大きなものはクラブが行い、消耗品は学校予算で対応している。
- ② クラブの活動拠点ができたことにより、活動が活性化した。
- ③ クラブにて利用者用のカフェなどを設置し、さらなる利用者増を図っている。
- ④ 指定管理料はクラブ活動ための収益源となっている。
- ⑤ クラブの人材が部活動の外部指導をおこなっている。また、それまで部活動が設置されていなかった種目も、クラブの活動を部活動に準じた扱いにすることで、活動できるようになっている。
- ⑥ 学校授業のゲストティーチャーとして、クラブの人材が授業をおこなっている。



### 【主な質疑】

- Q 指定管理料はどのようになっているのか。
- A 隣接施設も含んで年間1,100万円となっている。利用料金制となっているが、減免の対象となる団体の利用が多いため、金額はそれほど大きくない。

Q 利用者の状況は。

- A
- ・予約制であるが、会員でほぼ埋まっていて一般の利用は難しい。
  - ・利用者はかほく市民が約8割である。生徒も会員として利用しており、年会費（1, 2年生：2,300円、3年生：1,800円）はスポーツ安全保険料などに充当している。
  - ・以前は託児をおこなっていたが、不採算なので取りやめた。
  - ・学校の公式行事で体育館を使用しているときは、音の出るスタジオプログラムは控えている。

Q 防災対策は。

- A 学校の避難訓練に体育施設や指定管理者も参加している。施設内の自動販売機は災害用自販機を導入している。



## 【富山県 富山市】

[市制施行] 平成17年4月1日（合併による）

[人 口] 417,633人（平成29年3月31日現在）

[面 積] 1,241.77km<sup>2</sup>

[概 要]

富山市は、明治以降県庁所在地として発展し、平成8年に中核市となり、平成17年、町村合併により現在の富山市となった。現在は、環境未来都市構想のもと、快適で持続可能なコンパクトなまちづくりを推進し、利便性の高い路面電車のネットワークと路線バスやタクシーなどが結節した公共交通ネットワークの形成を目指している。また、昨年度、G7各国およびEUの環境大臣など国際機関の代表が参加した「G7富山環境大臣会合」のほか、国際的な会議の会場となるなど、世界に注目される都市となっている。



### 【視察項目】

1. 富山市まちなか総合ケアセンターについて
  - (1) 施設整備に至る経緯と予算規模について
  - (2) 施設の管理・運営体制について
  - (3) 公民連携の交流施設「総曲輪（そうがわ）レガートスクエア」について
  - (4) 施設の利用状況について
  - (5) オープンから現在までにおける運営上の気づきの点などについて

### 【視察内容】

1. 施設整備の経緯及び予算規模について

#### (1) 経緯

少子化に伴う中心市街地4小学校の統合と跡地の利活用として検討した結果、総合包括支援センターの拠点を整備することとなった。整備手法は、PPP方式を採用し、健康福祉医療併設型施設（まちなか総合ケアセンター）として民間事業者が整備した後に、市が買い取った。

#### (2) 予算規模

買取額	11億4千万円
年間運営費	別紙Q&Aご参照

## 2. 施設の管理・運営体制について

### (1) 施設の全体概要

子育て支援、在宅医療、地域コミュニティの醸成の推進を目的に、それらに関わる産後ケア施設、まちなか診療所、医療介護連携室、病児保育室、こども発達支援室、まちなかサロンなどの施設が設けられている。本施設の立地する総曲輪レガートスクエア内の各民間施設と連携し、行政、民間企業、NPO、地域住民などが協働して取り組み、健康まちづくりを実現することを目的に設置されている。



【延床面積】 2446.61 m<sup>2</sup>  
【構造】 鉄骨造 (3階建)  
【駐車場】 5台 (送迎用)  
【整備手法】 PPP方式  
【売買契約額】 1,149,120千円  
他 モビリティ2台、  
災害時用電源25h確保

### (2) 各施設の概要、運営体制及び利用状況

#### ①産後ケア応援室

概ね産後4か月までの母子を対象にデイケア、宿泊、教室にて産後ケアを提供

[対象者]

富山市に住民票がある、概ね産後4か月までの母親とその子で育児に不安がある方、家族支援が受けられない方

[事業内容]

居室5室 ・デイケア ・宿泊 ・教室(毎週火曜日10組)

[営業時間]

24時間体制(年末年始12/29～1/3除く)

[配置職員]

助産師、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士 等

[利用者負担額]

・デイケア

9:30～19:00 (2食) 4,900円

9:30～13:00 (1食) 1,800円

13:00～19:00 (1食) 3,100円

・宿泊

13:00～翌13:00 (3食) 7,200円



- ・教室  
10:00～12:00 13:00～15:30 800円

＊ひとり親家庭等助成制度あり

[利用状況・実績(平成29年9月末)]

- ・利用登録者 124人
- ・デイ利用 延べ114人
- ・宿泊利用 延べ133泊
- ・教室利用 27回実施 延べ227組

## ②まちなか診療所

市直営の在宅医療のみを行う診療所

[利用対象者]

- ・在宅医療を受けているおり、主治医から診療依頼のあった方
- ・通院できないなど、訪問診療の対象となる方で、地理的要因または病状により他の診療所などからの訪問診療が受けられない方

[訪問対象エリア]

富山市内

[スタッフ体制]

常勤医師3名、常勤看護師2名

[特色]

- ・在宅医療に特化(外来診療は行わない)
- ・24時間365日往診対応
- ・主治医の訪問診療をサポート



[診療時間]

- ・午前9時から5時
- ・休診日 土曜・日曜・祝日、年末年始(12/29～1/3)

[利用状況・実績(平成29年9月末)]

- ・総患者数 65人
- ・訪問診療、往診の実績あり 39人
- ・訪問診療 延べ143件 往診 延べ80件

## ③病児保育室

病児保育事業、お迎え型病児保育事業

[利用対象者]

医師による「診療情報提供書」に基づき、病児保育室での病児保育が可能であると診断されている病状であり、富山市に住所を有する満6ヶ月以上の未就学児(お迎え型は満1歳以上) 10名

[実施日]

月～金曜日（土曜・日曜・祝日、年末年始12/29～1/3は除く）

[保育時間]

7:30～19:00

[利用料金等]

- ・1日 2,000円
- ・お迎え型病児保育事業を利用の場合  
タクシー代の1/4
- ＊ひとり親家庭等助成制度あり

[利用状況・実績(平成29年9月末)]

- ・利用登録者 519人
- ・保育室利用 延べ359人(うちお迎え型利用5件)



#### ④こども発達支援室

発達が気になる子どもの保護者支援 児童発達支援、乳幼児の発達支援相談

[対象者]

乳幼児期からの発達の気になる子どもと保護者

[事業内容]

- ・児童発達支援事業
- ・障害児相談支援事業
- ・発達障害児相談支援事業
- ・乳幼児発達支援相談事業
- ・事業者のネットワークづくり事業

[実施日]

月～土（日曜・祝日、年末年始12/29～1/3は除く）

[営業時間]

8:30～17:00

[配置職種]

保育士、児童指導員、社会福祉士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士、保健師、看護師 等

[利用状況・実績(平成29年9月末)]

- ・相談件数 延べ2,442件
- ・プレイルーム、教室利用 延べ4,927人

#### ⑤まちなかサロン

多世代にわたる市民が参加できるイベントやまちなか保健室の開催

### 3. 公民連携の交流施設「総曲輪（そうがわ）レガートスクエア」について

#### (1) 全体概要

廃校になった総曲輪小学校の跡地に地域の健康拠点として、本年3月26日に整備された官民共用の複合施設。ちなみに施設名のレガートは結びつきや音を切らずに演奏するという意味の音楽用語。まちなか総合ケアセンターの他に、医療系専門学校、フィットネスクラブ、コンビニエンスストア、カフェ、立体駐車場、看護専門学校、旧小学校の体育館が併設されている。

#### (2) 施設の概要

##### ① 学校法人青池学園

概要：富山リハビリテーション医療福祉大学校（理学療法科、作業療法科）  
富山調理製菓専門学校（調理技術科、製菓技術科、調理師科）  
生徒数：520人（富山リハビリテーション医療福祉大学校 320人、  
富山調理製菓専門学校 200人）

##### ② グンゼスポーツ富山レガートスクエア

概要：フィットネスクラブ  
会員：約2,000人

##### ③ ローソン富山総曲輪店、ファーマみらい広貴堂薬局

概要：広貴堂の運営するカフェ

##### ④ D-parking レガートスクエア

概要：立体駐車場 320台収容

##### ⑤ 富山医師会看護専門学校

概要：看護師の専門学校（看護学科、准看護学科）  
生徒数：360人

### 4. 運営上の気づき点等

- (1) 利用者からは「使っていて楽しい」「ほっと一息つける」などの声が寄せられている。
- (2) 子育て世代に対し、支援をするので、二人目、三人目を諦めないでほしいとの想いで取り組んでいる。子育て支援に対する市長の思い入れは大変強い。
- (3) 施設が立地している地区のみ施設とならず、市全体のための施設になるように運営している。
- (4) パンプ等を活用し施設や取組の周知に努めている。
- (5) 医師会との連携が効果的なものになるように、早めの相談を心掛けている。

[ 主な質疑 ]

Q 年間の運営費はどの程度か。

A 年間4億2千万程度である（一般財源は年間2億7千万程度）。

Q 産後ケア応援室への宿泊事業において、きょうだいがいる場合の対応は。

A あくまでも対象のお子さんのみが宿泊可能であり、きょうだいの宿泊はできない。

Q 市内に実家があり、他市在住の妊婦の里帰り出産にも対応しているのか。

A 市税を投入している関係もあり、現状は認められていない。しかしながら、今後近隣市との連携協定の中で利用可能になる可能性はある。

Q 小児救急医療としての対応はしているのか。

A それに関しては県病院の対応となる。

Q まちなか診療所に医師が採用されているが、どのような対応をしているのか。

A 指揮命令系統上、職員にする必要があった。条例を改正し、医師に見合った処遇をおこなっている。

Q 災害時の福祉避難所としての位置づけはあるのか。

A 今のところ指定はされていない。しかし同一敷地に体育館があり、そちらは避難所にしてされているので、将来的にどのようなようになるかは流動的である。



以上が視察の概要であり、報告といたします。